



2015年3月期 第1四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2014年8月5日

本日発表のポイント

1. 2015年3月期 第1四半期 連結決算実績:

- 第1四半期は、原価率の改善等により、前年同期比で営業損益が大きく改善し、ほぼ計画どおりの営業利益を達成

2. 2015年3月期 連結業績予想:

- 通期の業績予想（売上5,150億円、営業利益125億円、純利益20億円）は変更せず

本日の説明

1. 2015年3月期 第1四半期連結決算
2. 2015年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2015年3月期 第1四半期連結決算

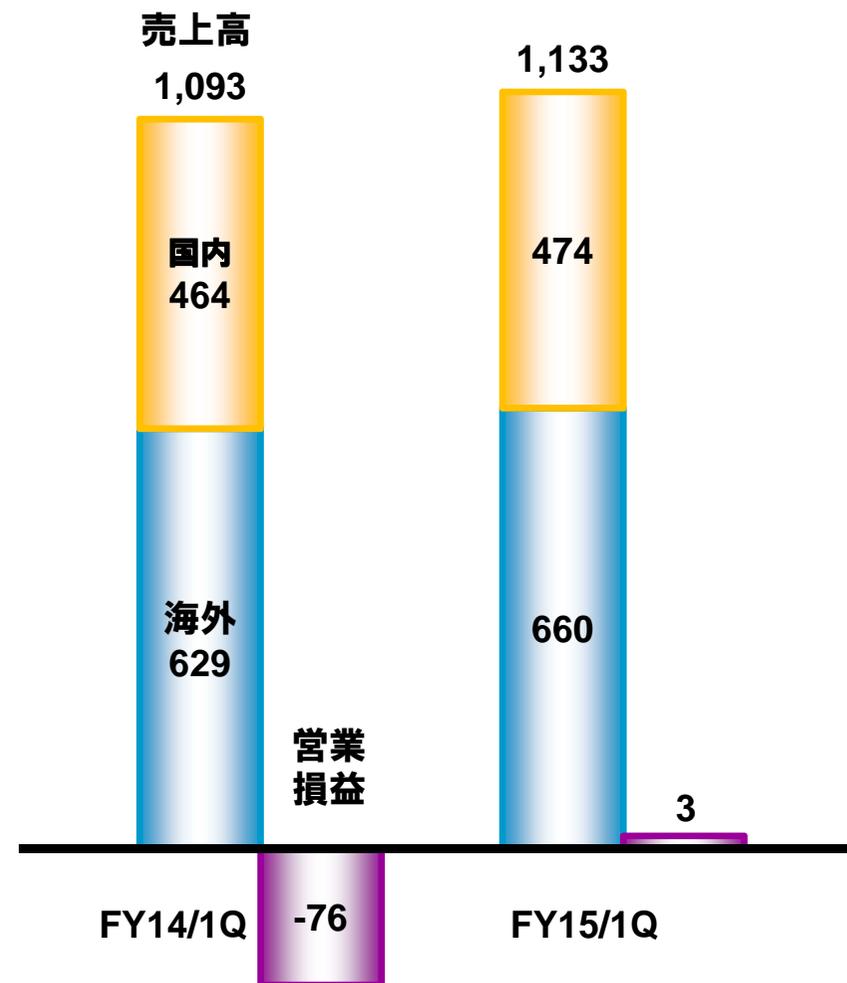
2015年3月期 第1四半期 連結業績概要

(単位:億円)

	当四半期	前年同期	前年同期比
売上高	1,133	1,093	103.7%
営業損益	3	-76	-
経常損失	-3	-92	-
当期純損失	-21	-101	-

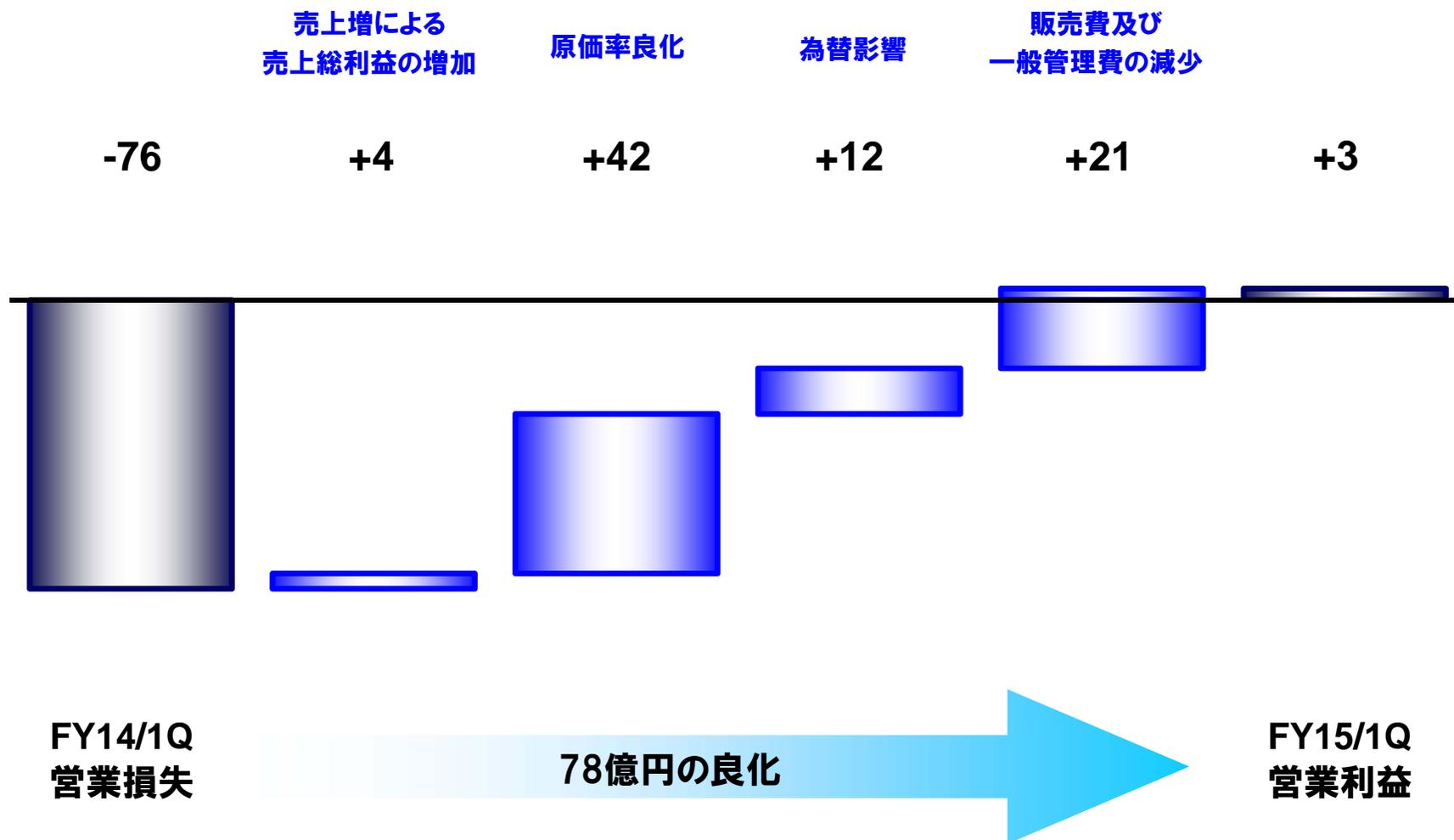
為替平均 レート	1USDドル	102.16円	98.76円	+3.3%
	1ユーロ	140.07円	128.95円	+7.9%

1株当たり純損失	-5.69円	-31.23円	+25.54円
ROE	-11.7%	-51.7%	+40.0%
1株当たり純資産	192.43円	216.64円	-24.21円
ROA	-2.6%	-12.7%	+10.1%



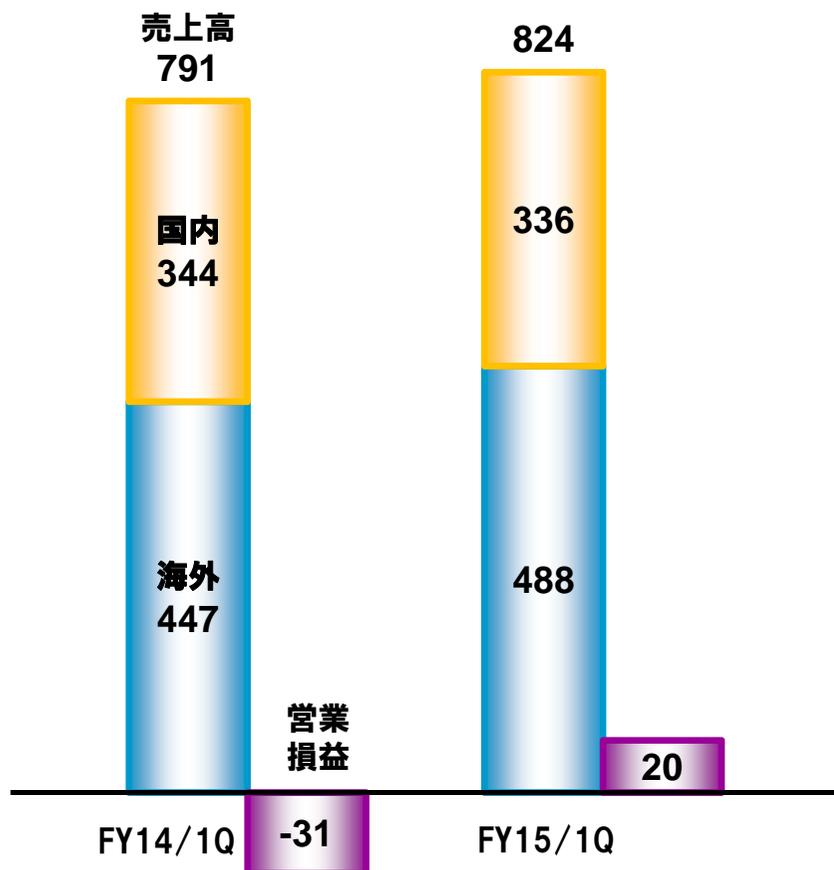
2015年3月期 第1四半期 営業損益増減要因

(単位:億円)



セグメント別売上高・営業損益(第1四半期): カーエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 > OEM比率 56% (前年同期 58%)

前年同期比	104% (国内 98%、海外 109%)
増収要因	市販カーナビゲーションシステム 市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ

< 営業損益 >

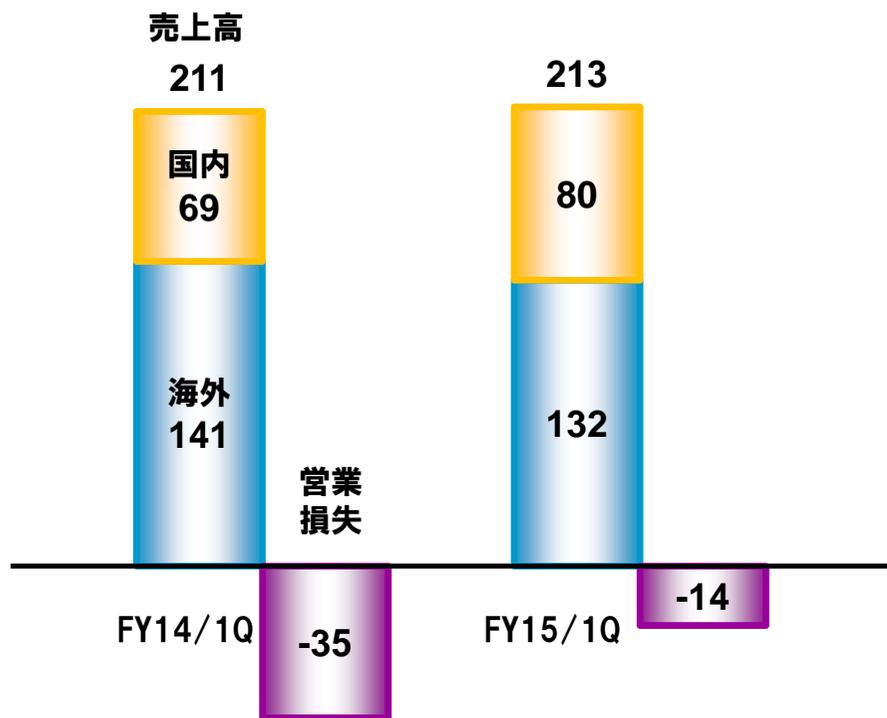
前年同期比	51億円の良化
良化要因	原価率良化 (+32億円) 為替影響 (+10億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+5億円) 売上増による売上総利益増加 (+4億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第1四半期): ホームエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	101% (国内 116%、海外 94%)
増収要因	光ディスクドライブ関連製品、DJ機器、CATV関連機器
減収要因	ホームAV製品

< 営業損失 >

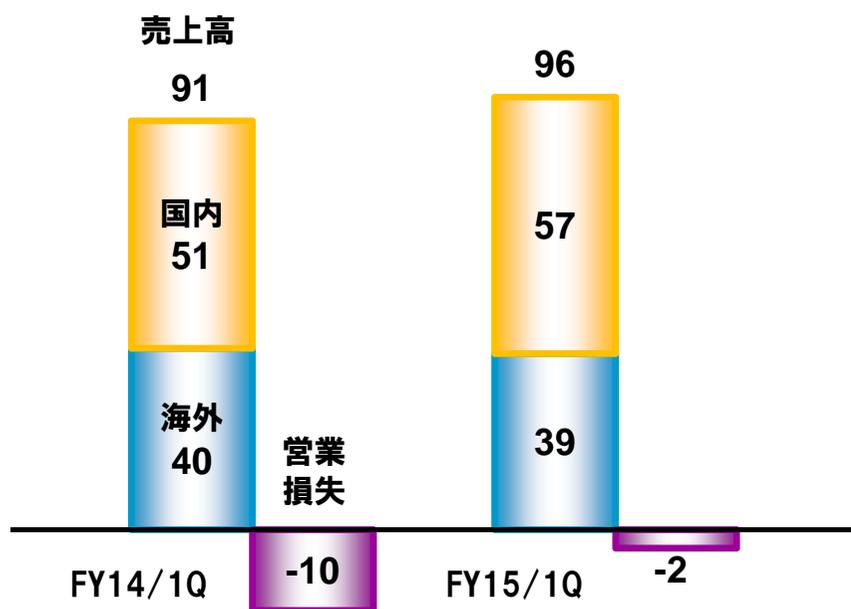
前年同期比	21億円の良化
良化要因	原価率良化 (+11億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+9億円) 為替影響 (+2億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
AVシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器、ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、DVDプレーヤー、DVDドライブ、AVアクセサリ、電話機

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、当四半期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第1四半期): その他

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	106% (国内 113%、海外 97%)
増収要因	電子部品
減収要因	FA機器

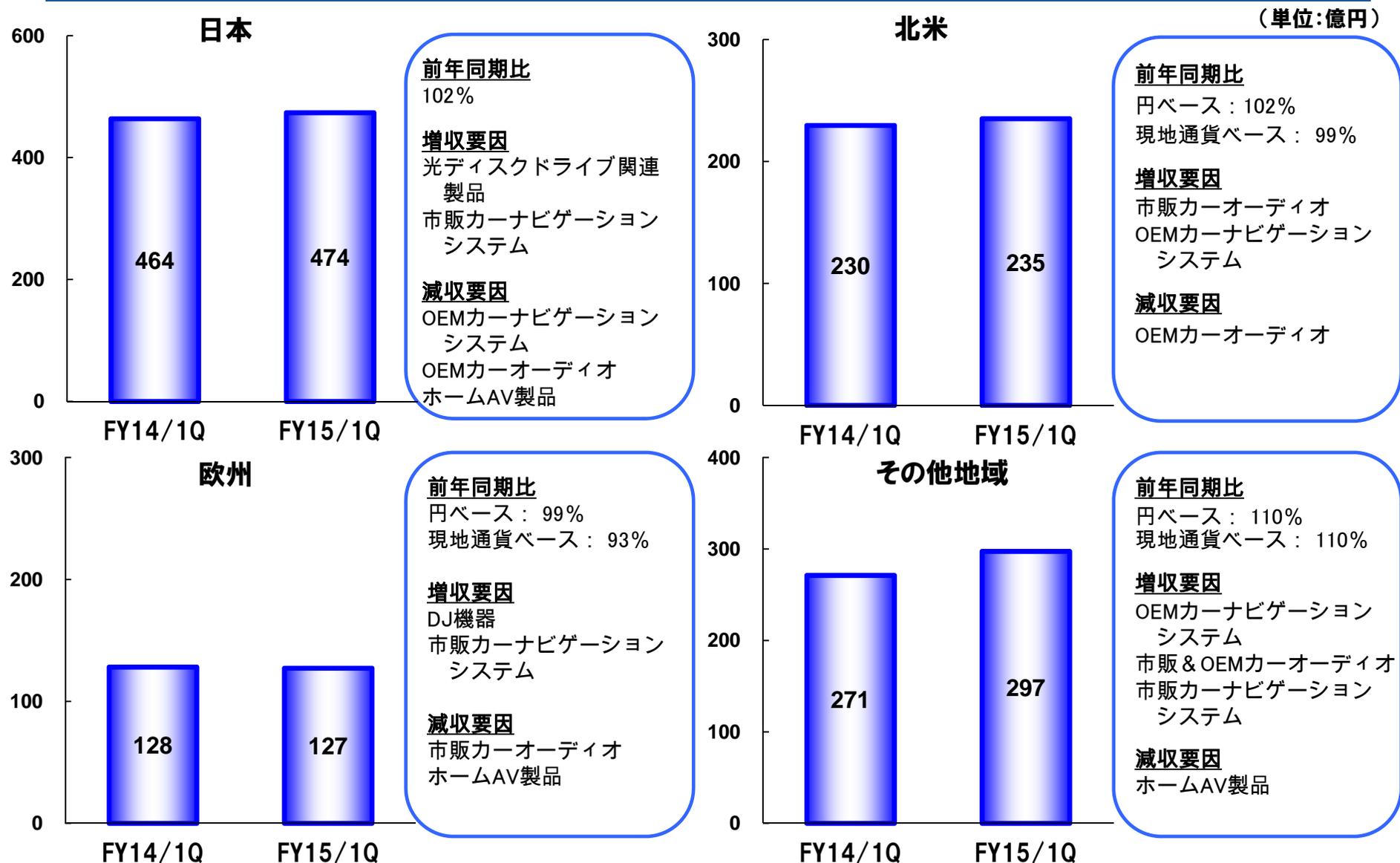
< 営業損失 >

前年同期比	8億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少 (+5億円) 原価率良化 (+2億円) 売上増による売上総利益の増加 (+1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
FA機器、スピーカーユニット、電子部品、有機ELディスプレイ、
EMS(電子機器受託製造サービス)、地図ソフト

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、当四半期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

2015年3月期 第1四半期 地域別売上高

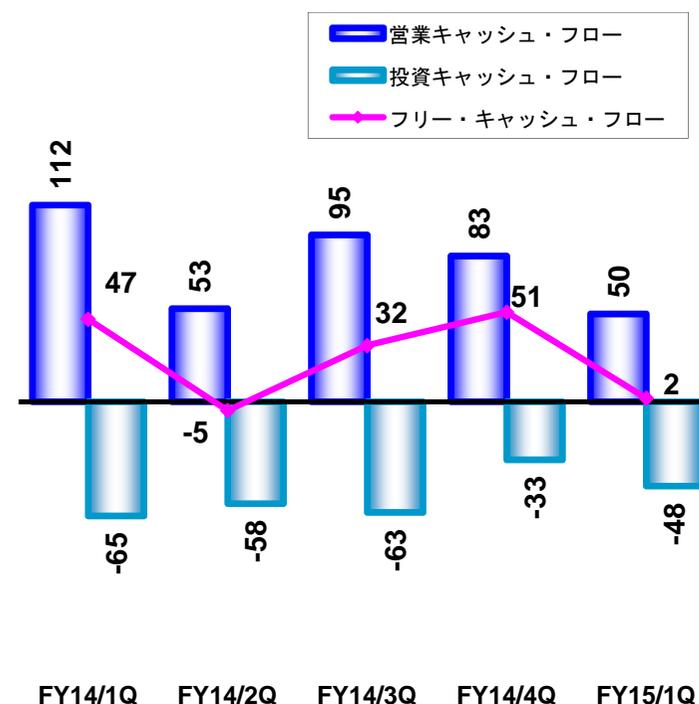


2015年3月期 第1四半期：連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	当四半期	前年同期
税金等調整前当期純損益	-0	-94
減価償却費	55	65
退職給付に係る負債の増減(＊)	-3	3
事業構造改善費用引当金の増減	-	-62
売上債権の増減	85	69
棚卸資産の増減	-29	-1
仕入債務の増減	2	90
未払費用の増減	-8	73
その他	-50	-32
営業キャッシュ・フロー	50	112
投資キャッシュ・フロー	-48	-65
財務キャッシュ・フロー	-9	82
現金・現金同等物の換算差額	-3	6
フリー・キャッシュ・フロー	2	47

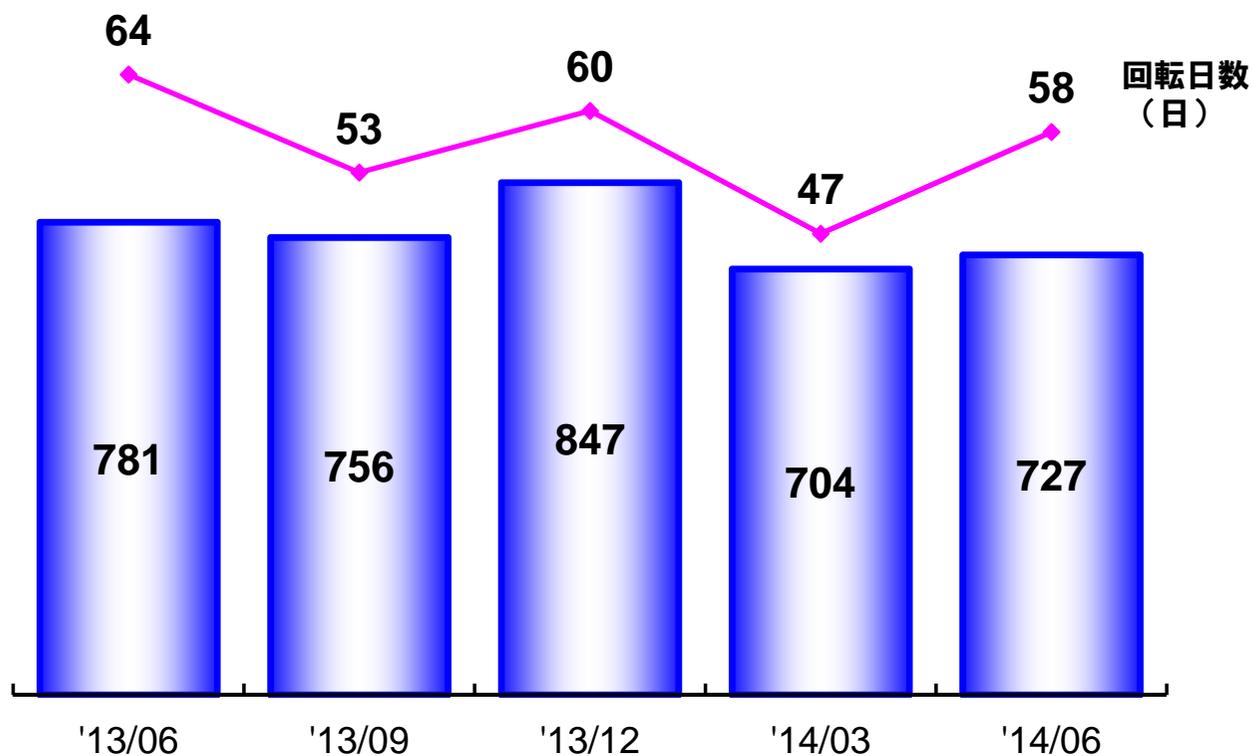
現金・現金同等物の増減	-10	135
現金・現金同等物の残高	329	345
NETキャッシュ残高	-539	-621



注) (＊)「退職給付引当金の増減額」を含んでいます。

2015年3月期 第1四半期 棚卸資産

(単位:億円)



2. 2015年3月期連結業績予想

2015年3月期 連結業績予想(中間期・通期)

(単位:億円)

	中間期		通期	
	FY15予想	FY14実績	FY15予想	FY14実績
売上高	2,430	2,363	5,150	4,981
営業利益	30	6	125	112
経常損益	5	-20	75	51
当期純損益	-15	-50	20	5

		通期	
		FY15予想	FY14実績
為替前提 レート	1 USD	100.54円	100.24円
	1 ユーロ	136.27円	134.37円

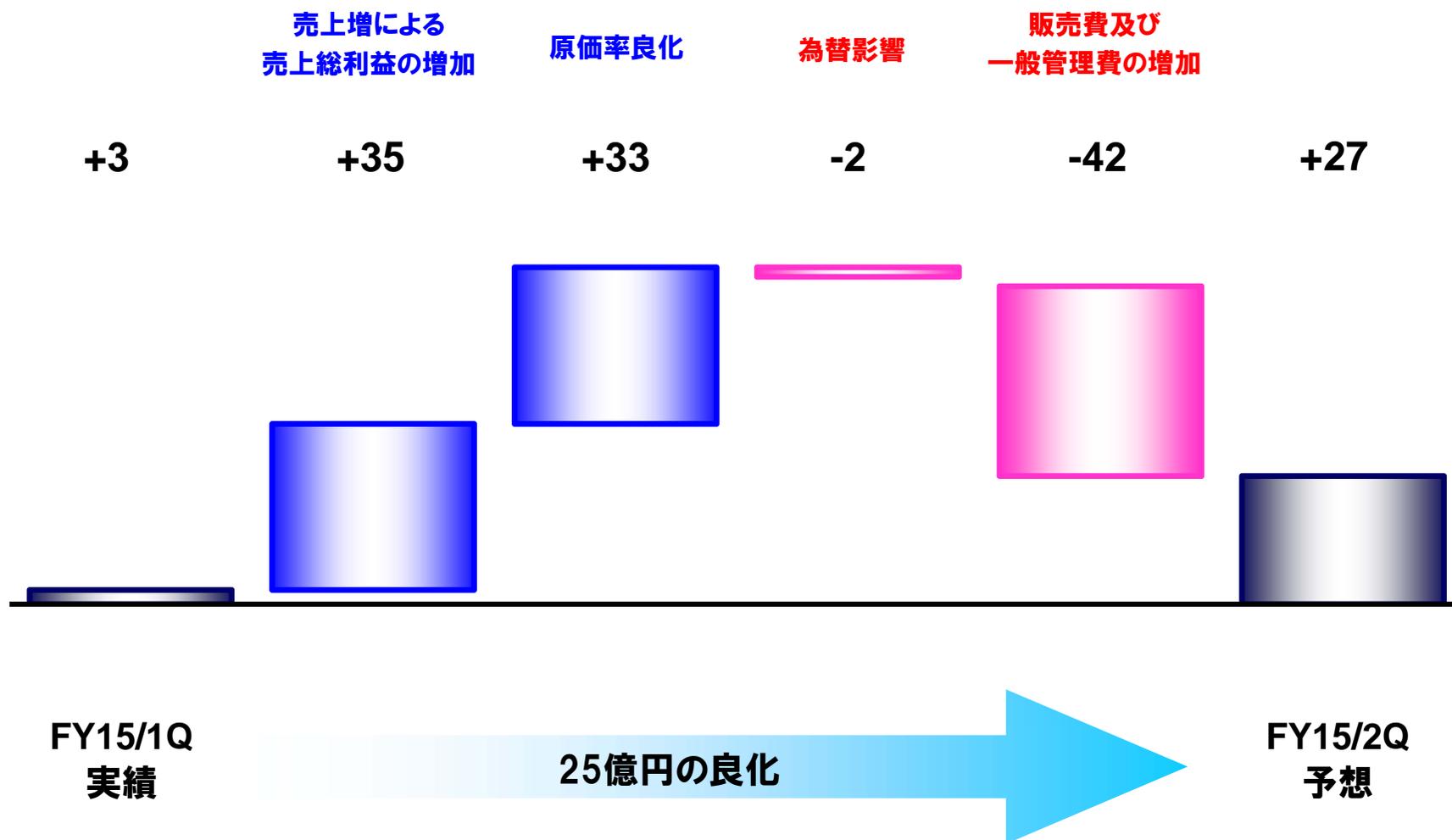
	通期	
	FY15予想	FY14実績
1株当たり 純損益	5.45円	1.49円
ROE	2.7%	0.7%
1株当たり 純資産	202.78円	197.33円
ROA	0.6%	0.2%

注) 1. 残り9か月間の予想レートは、1USDは100円、1ユーロは135円を前提にしています。

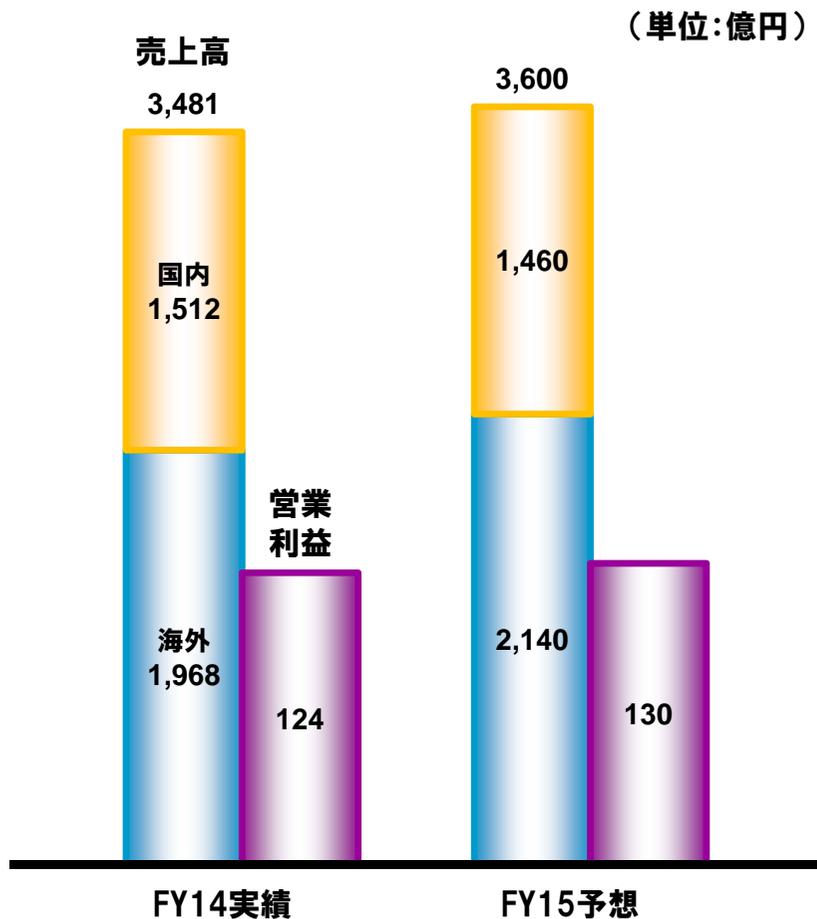
2. 1円の円安インパクト(残り9か月)は、売上高では、USDは約19.9億円、ユーロは約3.8億円、営業利益では、USDは約▲3.1億円、ユーロは約2.5億円。

2015年3月期 第2四半期予想 営業利益増減要因

(単位:億円)



2015年3月期予想：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 53% (前期 54%)

前期比	103% (国内 97%、海外 109%)
増収要因	市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

前期比	6億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+39億円) 売上増による売上総利益の増加 (+24億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-58億円)

< 出荷台数 >

(単位:千台)

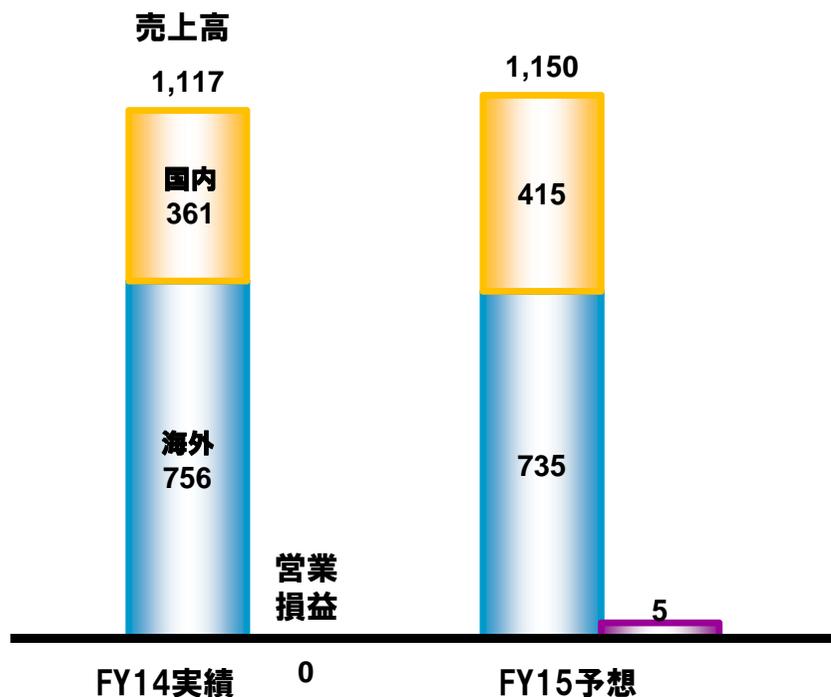
	FY14実績	FY15予想 (*)
市販カーナビ	835	820
市販カーCD	7,999	8,650

➤ (*) 当初予想から変更ありません。

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2015年3月期予想：ホームエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 >

前期比	103% (国内 115%、海外 97%)
増収要因	CATV関連機器、DJ機器
減収要因	ホームAV製品

< 営業損益 >

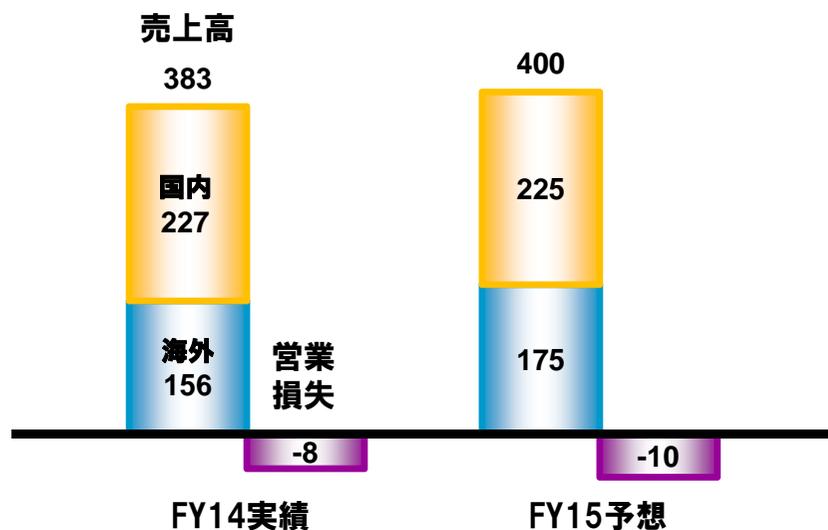
前期比	5億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+29億円) 売上増による売上総利益の増加 (+8億円) 為替影響 (+1億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-33億円)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

2015年3月期予想：その他

(単位:億円)



< 売上高 >

前期比	105% (国内 99%、海外 112%)
増収要因	FA機器
減収要因	業務用AVシステム

< 営業損失 >

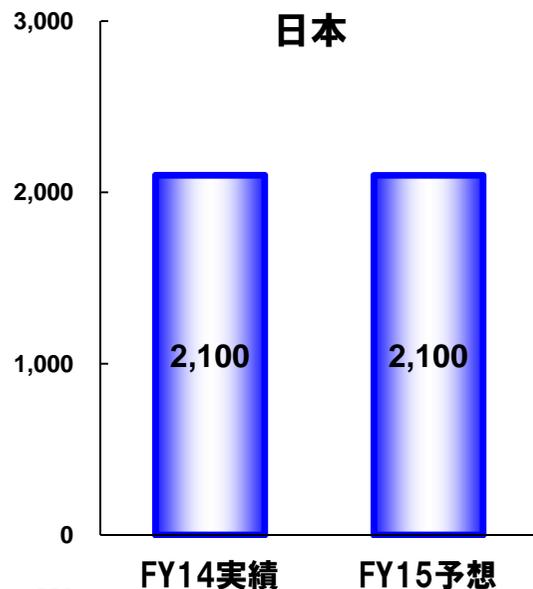
前期比	2億円の悪化
良化要因	原価率の改善 (+8億円) 売上増に伴う売上総利益の増加 (+3億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-13億円)

注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた電話機を、当期から「ホームエレクトロニクス」に含めています。これに伴い、前期の金額についても、当期の表示に合わせて組替表示しています。

2015年3月期予想 地域別売上高

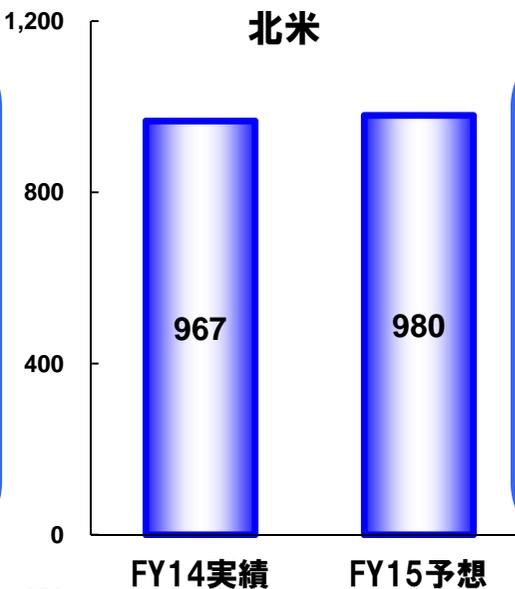
(単位:億円)



前期比
100%

増収要因
CATV関連機器
光ディスクドライブ関連製品
FA機器

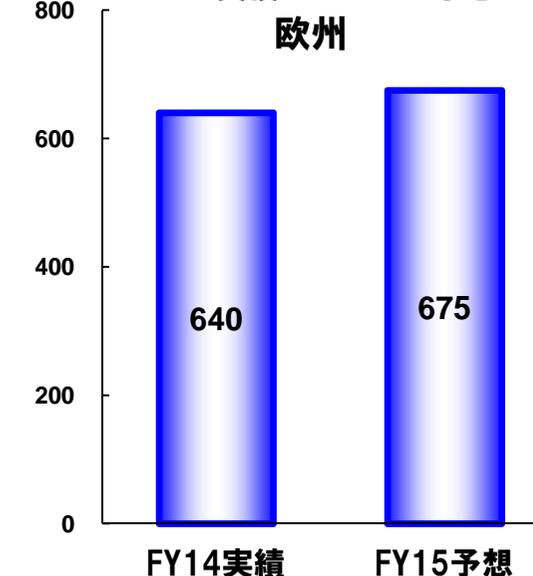
減収要因
市販カーナビゲーションシステム



前期比
円ベース : 101%
現地通貨ベース : 101%

増収要因
市販&OEMカーオーディオ
市販&OEMカーナビゲーションシステム
DJ機器

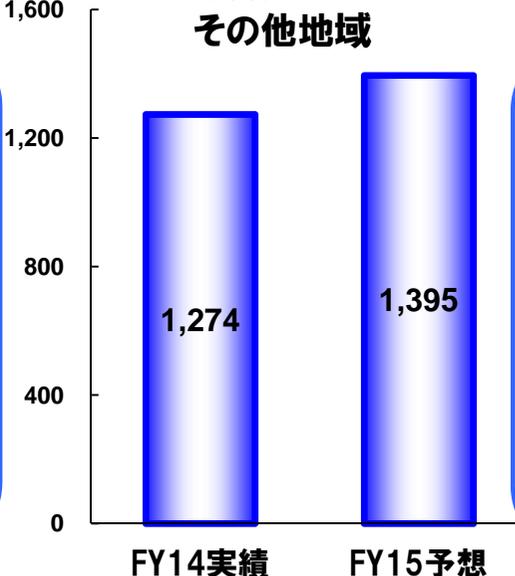
減収要因
特になし



前期比
円ベース : 105%
現地通貨ベース : 105%

増収要因
市販カーオーディオ & カーナビゲーションシステム
OEMカーオーディオ
DJ機器

減収要因
特になし



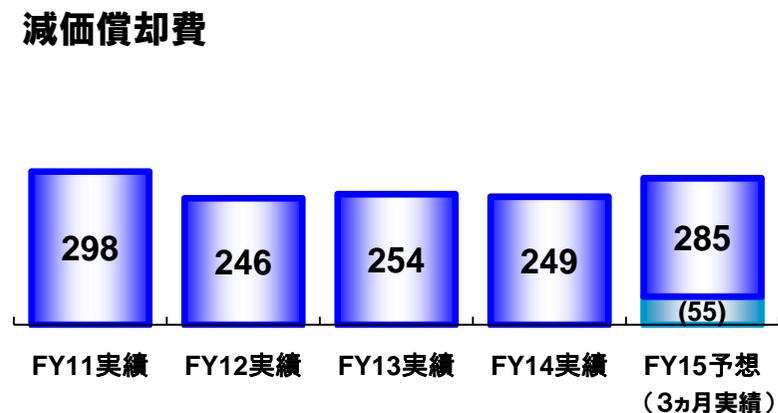
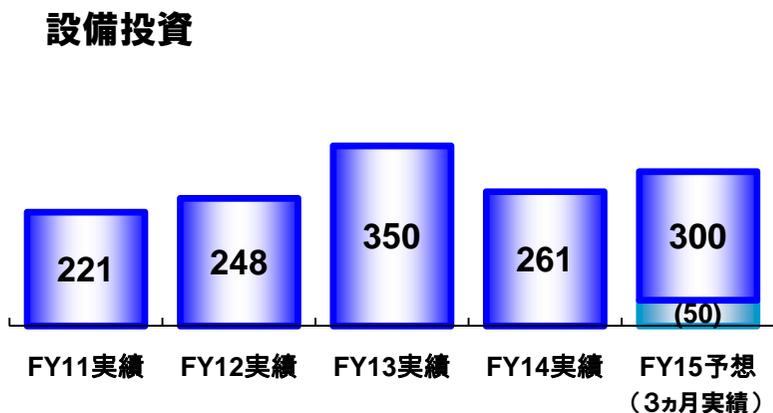
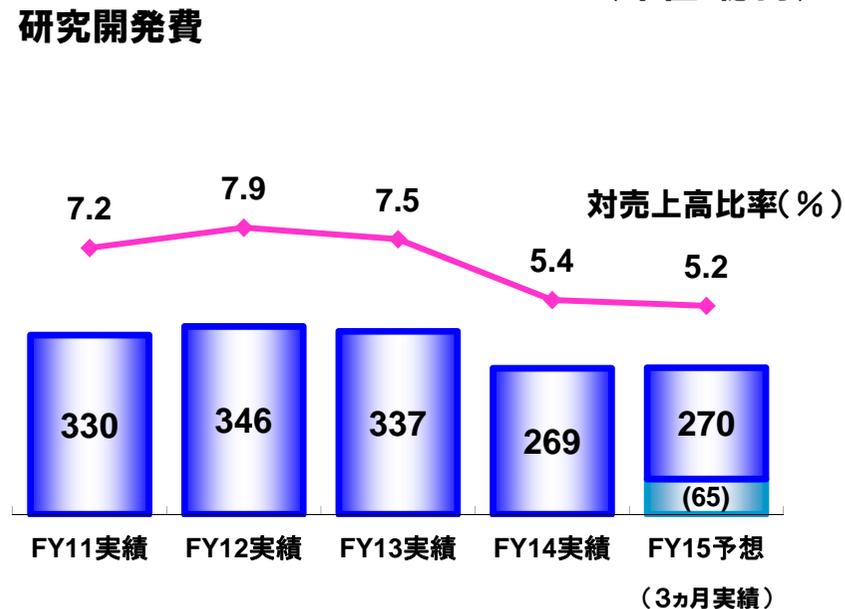
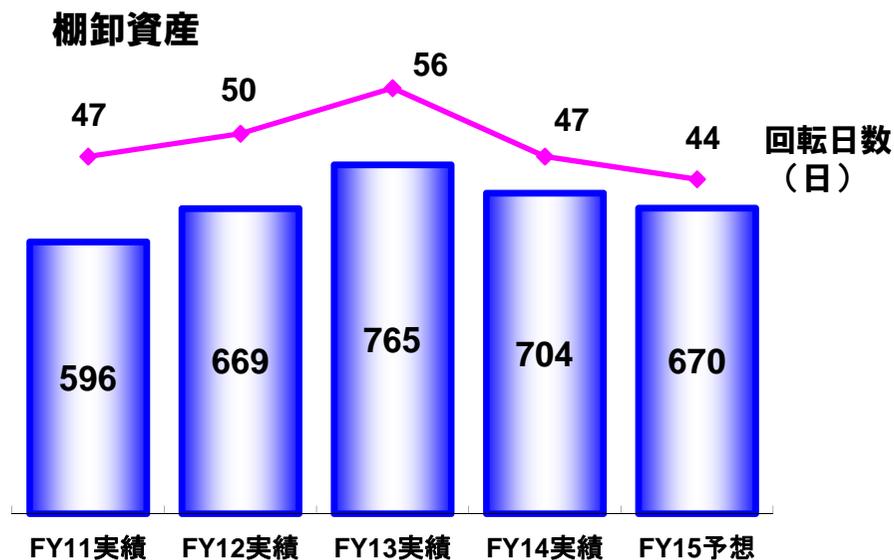
前期比
円ベース : 110%
現地通貨ベース : 110%

増収要因
OEMカーナビゲーションシステム
市販カーオーディオ & カーナビゲーションシステム
DJ機器
FA機器

減収要因
ホームAV製品

2015年3月期予想 棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位:億円)



2015年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY14実績	FY15予想
営業キャッシュ・フロー	342	330
投資キャッシュ・フロー	-219	-300
財務キャッシュ・フロー	-9	-90
フリー・キャッシュ・フロー	124	30

	FY14実績	FY15予想
純資産	778	800
自己資本比率	22%	23%
ネット有利子負債	521	510
D/E比率	1.2倍	1.1倍
現金及び預金	354	290

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3か月超の定期預金を含んでいます。
2. D/E比率＝有利子負債÷(純資産－少数株主持分)

Pioneer